



# 市民講演会

## 重力波物理学・天文学の展開

～ブラックホールをめぐる宇宙の謎～

平成28年3月に『一般相対性理論誕生百年記念市民講演会』【長岡会場】において、当時最新のニュースであった世界初の重力波直接観測について解説し、今後の重力波研究の展望をお伝えしました。その後、重力波研究は劇的に発展しています。本講演会は、前回講演の続編として、第一線で活躍する若手研究者が「重力波とは何か」から解説を始め、ブラックホールに関連した話題を中心に重力波でさぐる様々な宇宙の謎を語ります。

講師：細川隆史氏（京都大学 大学院理学研究科 准教授）  
内瀧那美氏（新潟大学 自然科学系 研究員）

- 日時：平成31年2月17日（日）14：00より（開場：13：30，17時終了予定）
- 会場：まちなかキャンパス長岡 3F 302会議室
- 主催：新学術領域研究「重力波物理学・天文学：創世記」  
後援：長岡技術科学大学
- 参加無料。参加申し込みは電話(0258-47-9847，平日9:00-16:30) / FAX (0258-47-9357) /メール(gw\_lecture@oberon.nagaokaut.ac.jp，件名を”講演会申し込み”としてください) に，ご芳名・参加希望人数・参加者の年齢層・お住いの地域とともにご連絡ください。参加希望者多数の場合は登録者を優先します